

「令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第17回研修を開催しました！」

第17回の研修は、令和4年9月30日(金)、10月1日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の講義は、総合的病害虫・雑草管理(IPM)で、講師は、元岩手県病害虫防除所長の阿部武美氏にいただきました。

病気の発生には、主因、要因、素因の3要因があり、見分け方は、病徴と標徴とによる方法しかないこと、病原のほとんどが糸状菌であることなどを学びました。

また、害虫の種類は、昆虫とダニ類などで、被害は多様であり、吸汁害ではウイルスを媒介したり、果実を変形させたり、被害を軽視できない場合が多いことを学びました。

IPMは、総合的な手法により作物に有害な生物を経済的目標水準に抑えるよう管理することで、予防的措置には、輪作や天敵の活用など、多様な方法について説明がありました。

また、農薬の使用では、適用農作物の見方、耐性菌等の発生、散布時の暴露や飛散(ドリフト)に注意するよう説明がありました。

講義後は、ほ場に移動し、こまつなにはヤガ類の幼虫が、だいこん、はくさいには、キスジミノハムシがいることを確認し、防除方法や、時期などを解説していただきました。

実習は、ピーマン、リーフレタス、キャベツ、さつまいもの収穫を行いました。

リーフレタスは、包丁で株元の茎を切り、外葉を落とし、切り口を整えました。

さつまいもは、ツルを切り取ってから、マルチフィルムを剥がし、いもが折れないように、手やスコップを使って掘り起こしました。

第18回の研修は、10月14日(金)、15日(土)に、同会場で、農作業安全②「トラクタ及び小型管理機の安全操作」を行う予定です。



講義「病害虫・雑草総合管理②について」の様子



ほ場で発生している病害虫を観察する様子



リーフレタスを収穫する様子



さつまいもを収穫する様子